



2019年5月10日

各 位

会社名 太平電業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 野尻 穰  
 (コード番号 1968 東証第一部)  
 問合せ先責任者 取締役上席執行役員総務管理本部長  
 日下 慎也  
 (TEL. 03-5213-7211)

## 通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2018年5月11日に公表した2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想値と実績値との差異

2019年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

|                         | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
|                         | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円                     | 円 銭            |
| 前回発表予想(A)               | 96,700  | 6,390  | 6,900  | 4,580                   | 244.86         |
| 実績値(B)                  | 101,141 | 3,491  | 4,013  | 2,795                   | 149.13         |
| 増減額(B-A)                | 4,441   | △2,899 | △2,887 | △1,785                  |                |
| 増減率(%)                  | 4.6     | △45.4  | △41.8  | △39.0                   |                |
| (ご参考)前期実績<br>(2018年3月期) | 81,393  | 3,563  | 3,422  | 2,287                   | 122.55         |

2019年3月期通期個別業績予想値と実績値との差異(2018年4月1日～2019年3月31日)

|                         | 売上高    | 経常利益   | 当期純利益  | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|----------------|
|                         | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 円 銭            |
| 前回発表予想(A)               | 93,500 | 6,480  | 4,340  | 231.99         |
| 実績値(B)                  | 96,813 | 3,662  | 2,782  | 148.39         |
| 増減額(B-A)                | 3,313  | △2,818 | △1,558 |                |
| 増減率(%)                  | 3.5    | △43.5  | △35.9  |                |
| (ご参考)前期実績<br>(2018年3月期) | 79,078 | 3,262  | 2,338  | 125.24         |

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。  
 これに伴い、1株当たり当期純利益は、2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

#### 2. 差異の理由

2019年3月期通期の業績(連結・個別共)は、売上高につきましては、火力他補修工事の増加があったことなどにより、前回予想より増加となりました。

利益面につきましては、火力他補修工事の増加による利益増があったものの、原子力発電設備の点検および修理工事の延伸による工事量の減少、完成時期の延期などの要因および一部大型建設工事において人件費高騰による追加費用の増加などにより、前回予想を下回る結果となりました。

以上